

Rotary International District 2820

下館ロータリークラブ会報

SHIMODATE ROTARY CLUB WEEKLY REPORT 2022-23

第 02622 号 発行日 令和 5 年 2 月 1 日



イマジン
ロータリー

ジェニファー・ジョーンズ R I 会長

本日のプログラム

短縮例会

白田ガバナー補佐・大塚セクレタリー訪問

次週のプログラム

卓話

内山勝洋 下館さくらR衛星クラブ 議長

会長／潮田武彦 副会長／早瀬浩一 幹事／神山芳子 会長エレクト／宮田憲一

例会 毎週水曜日 12:30 ダイヤモンドホール (〒308-0847 茨城県筑西市玉戸1053-4 ☎0296-28-8511)

ホームページ <http://www.shimodate-rc.gr.jp> Eメール shimodate@ri2820.jp



前例会報告 第3005回 2023/1/25日(水)

来 訪 者 ようこそ下館RCへ

鈴木富士雄 職業奉仕総括委員長(つくば学園RC)

会 長 挨 拶 潮 田 武 彦 会 長

1月は職業奉仕月間となっております。当初予定では、1月に開催する予定でした会員の職場訪問ですが11月30日に予定を前倒して、佐藤会員の会社に訪問して、佐藤さんのお煎餅への想い、職業への想いと取り組みを、皆さんでお聞きしてきたことは記憶に新しいことと思います。

今月のロータリーの友には、職業奉仕月間特集として、「私のプライド、その仕事」職業奉仕を英語で表すと、Vocational Serviceとなります。Vocationalは、「天から与えられた使命をもって従事する天職を意味するとされているそうです。自分の職業を常に見つめ直し、その質を高め、誇りをもって、職業を通じて世に奉仕する会員が「つくっているもの」は？ということ、で、「あなたがつくっているものは？」という記事が掲載されていて、全国のロータリアンの皆様がその想いを紹介しているもので、ページをめくって、19ページ目に、我が下館ロータリークラブ幹事の神山さんが紹介されています。

記事の内容を紹介します。幼稚園児の時に私のもとにやってきた子が「先生、もう30年よ」クラシックバレエの基礎が身につくと、背筋が伸び、シャンとした姿勢が日常となり、とても印象的な姿が目映るように。体幹は長い間に培ってこそ得られる、証しで、「まさしく継続は力なり」を身をもって示します。一つのことを継続することが、明日への糧とつながっていくことの大切さ。バレエ、そしてロータリーを通じ、次の世代の一人ひとりの継続を作っていきます。とのことで、「継続」という言葉を持ってバレエ教室の生徒さんとの写真が掲載されています。見た目も心も、いつもお若い、神山幹事の想いがここにまさに表れている一言でした。

自分は何を言葉で選ぶかな？と考えたときに思いついたのが、「伝える」でした。私自身、農業で最初起業して、ある程度のところになった時に、ふと、自分は何のために農業をがんばってきたのか？と考えるタイミングがありました。

その後、農業コンサルタントをして、全国の農業者を育てる中で、自分も多くの先輩方から、教えてもらい、自分一人では、ここまでなれなかったことを思い出しました。農業をして苦労されている方が多々います。そんな方々が少しでも経営がよくなるために、自分の技術を伝えることが大切だと思うようになり、それが「天命」と感じられるようになった瞬間がありました。今は、日々、その天命にそって仕事を淡々とこなしている感じですが、やはり農家さんに笑顔で喜んでもらえた瞬間が何よりもうれしく思います。

皆さんの「つくっているものは？」何でしょうか？ぜひこの機会に考えてみてください。

本日は、鈴木職業奉仕委員長に卓話を頂きます。現在から今後のロータリーの職業奉仕についてもお話をしていただけたと思います。コロナの為に短縮例会になり、非常に短い時間でお話をさせていただくことになってしまい、申し訳ありませんが、どうぞよろしくお願いします。

幹 事 報 告 神 山 芳 子 幹 事

○国際ロータリーより

・国際ロータリーリーダー

クラブと地区のリーダーの成功をサポート

○公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会より

・礼状と法人申告用領収証 受理

○筑西市より

・令和4年度 第6回ちくせい若者まちづくり会議
「マイプロジェクト発表会」の開催についての案内

○2月25日 第5分区IMの出欠お伺いをボードに貼り出しました。記入をお願い致します。

○先週、塚田砂与さんとお会いしました。なかなか例会に出席できず、申し訳ありませんけれど、時間を作って来てくれると約束することができた嬉しい報告をさせていただきます。



職業奉仕月間によせて

鈴木富士雄 地区職業奉仕総括委員長



例会出席の意義

「一人一業種」と「例会出席」は、ロータリー運動を成立させるための必要条件です。ロータリー・ライフにおける親睦の第一歩は、先ず、毎週必ず例会に出席することから始まります。この規約は、会員身分を保証するための最低条件に過ぎず、ロータリー運動が望んでいる会員像は、毎例会、欠かさずホーム・クラブに出席してくるロータリアンの姿です。

原始ロータリーにおける例会出席は、友情の証でもありました。4回も続けて休むような人から友情を期待することはできないという理由から、連続休会、即、退会という結論がでたのに違いありません。現在のロータリーでも、例会出席の意義を説明するには聊か無理があります。

先ず、もしも、例会を休んだとしたら、どのような弊害が生じるかを考えてみたいと思います。例会にはその地域の職業を代表する会員が出席していますから、あなたが休むことによって、他の会員は、あなたの職業に関する情報が得られなくなると同時に、あなたもあなた以外のあらゆる業種の情報が得られなくなることになります。その意味では、例会出席は特権であると同時に、極めて重要な義務でもあり、仕事に支障をきたさない範囲で出席するという理屈は通りません。むしろ安心して出席できるように環境を整備すべきであり、ロータリアンにはそのように配慮できる裁量権があるはずです。義務として例会に出席して、そこで生じた仕事のタイムロスを憂うのではなく、特権として出席した例会で得られるものの方が、あなたやあなたの会社やあなたの業界にとって遥かに大き

いということを実感しなければなりません。

ロータリーの奉仕哲学は He profits most who service best と Service above self に示されるように、他人に及ぼす奉仕と自己の利益という、一見、相反する現象を巧みに調和させた哲学です。万一、真面目に事業を営み、ロータリー運動を推進しているロータリアンが、事業の不振のために破産するような事態があるとすれば、それはロータリー運動そのものが否定されることを意味します。ロータリアンの事業の安定化を図る方法は、物質的互惠から精神的互惠を経て、職業奉仕の実践に移行し現在に至っています。奉仕哲学を探究しつつ、永年のロータリー活動を通じて蓄積された膨大な情報こそ、ロータリアンの事業を発展させ、企業経営を健全化に導く重要な情報とも言えましょう。

ロータリー哲学を構築する理論と情報と教育的効果を、夢ゆめ疑ってはなりません。不況の時にこそ、ロータリー運動の真価が表われ、真のロータリアンと単なるロータリークラブの会員との差が証明されるのです。かつて、零細企業主だったロータリアンが、一様にその事業を隆盛に導いたのは、決して物質的相互扶助の効果ばかりではなかったし、1929年からの大恐慌に際して、シカゴ・クラブのロータリアンが自らの企業を守り抜いたことも、これを実証しているのです。ここで述べる情報とは、定款や細則や、また単なる業界ニュースやトピックスだけを指すものではありません。ロータリアンは例会を通じて、ロータリーが提唱するモットー、四つのテストや各種の理事会や大会決議を始め、歴代のR I会長が提唱するテーマの精神を理解し、ロータリアン個々が実践している職場や業界の職業奉仕の事例を参考にして、奉仕の心を高めるための努力をしているはずです。その結果得られた結論と、結論を導き出すために努力した過程のすべてが、貴重なロータリー情報なのです。情報を交換する努力は双方向から行われるべきものであり、受け取る側も与える側と同等の努力を払わなければなりません。

国際的なロータリーの会合に参加すると、会場の入口には決まったように、Enter to learn と Go forth to serve の看板が来訪者を迎えて



くれます。{ 入口で学び、出でて奉仕せよ } この言葉はロータリーの全ての集会に参加する時には、その集会を通じてロータリアンとしての心を磨くという目的意識を持って参加し、集会を終えてコミュニティに戻れば、集会で磨いた奉仕の心を実践に移さなければならないことを意味しています。

ロータリーの正式な会合は例会であり、クラブ協議会、IM、地区協議会、国際協議会などがこれに次ぐ重要な会合です。例会の目的は、職業上の発想の交換を通じて、分かち合いの精神による事業の持続性を学び、友情を深め、自己改善を計ることにあり、その結果として奉仕の心が育まれてくるのです。自己改善は終生続けなければなりませんからロータリアンには定年はないし、ロータリー運動には終結もありません。これが例会出席がロータリー・ライフの前提となる所以なのです。米山梅吉は「ロータリーの例会は人生の道場」と語っています。

お互いが切磋琢磨して自己研鑽に励む貴重な修練の場でなければなりませんから、例会運営に当たる者は、事業に従事すべき貴重な時間を割いて例会に参加する会員に、それに値するメリットを与える義務があります。限られた時間の中で、如何に有益な情報を効果的に提供するかを真剣に考えて、実行しなければなりません。会長の時間、幹事報告、議事、各種の報告、卓話、そのひとつひとつがロータリー運動の質を高め、参加者の心に深い感銘を与える内容であってこそ、初めて、例会出席の意義が満たされるのです。

以上はロータリー源流の会出版物の「例会出席の意義」の一部抜粋をしたものです。15年ぶりに読み再認識をさせていただきました。

スマイルBOX 鈴木健一 副委員長

▶鈴木富士雄さん 本日の卓話、お世話になり

ます。また、直前新井パストガバナー、神山幹事さんには大変お世話になり、ありがとうございました。

▶新井 和雄さん 鈴木富士雄 地区職業奉仕総括委員長の卓話を記念して。

▶潮田 武彦さん 地区職業奉仕総括委員長 鈴木富士雄様、ようこそ下館RCへ。本日の卓話、楽しみに参りました。ご指導宜しくお願いします。

▶神山 芳子さん 鈴木富士雄 職業奉仕総括委員長ようこそ！本日は宜しくお願いします。

▶宮田 憲一さん 本日は、鈴木様ご指導宜しくお願い致します。皆様、寒さに負けず頑張りましょう。

▶永井 啓一さん 鈴木職業奉仕総括委員長、ようこそいらっしゃいました。宜しくお願いします。

▶早瀬 浩一さん 職業奉仕総括委員長 鈴木富士雄様、ご来訪ありがとうございます。卓話宜しくお願い致します。

▶小林 一彦さん 職業奉仕総括委員長 鈴木富士雄様、ようこそお出で下さいました。卓話宜しくお願い致します。

▶中里 泰久さん 鈴木富士雄 職業奉仕総括委員長、ようこそ！本日は宜しくお願いします。

▶鈴木 隆朗さん 鈴木富士雄 職業奉仕総括委員長、本日は宜しくお願い致します。

▶鈴木 健一さん 鈴木富士雄 職業奉仕総括委員長、ようこそ。卓話宜しくお願いします。

本日の合計 16,000 円 累計 508,000 円

出席報告

会員数	出席数	欠席数	病欠	免除
22	10	7	1	4



ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理規準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理想を实践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。